

【令和3年度予算案策定にあたり】

令和3年度公営企業会計予算の収益的支出については、水道事業・下水道事業ともに枠配分経費のマイナス1.3%シーリングにより、合わせて2,804千円の経費を抑制し経営の安定化に努めました。
 水道事業では、地震に弱いとされる塩化ビニル管更新の優先的な実施、上下水道管路台帳システム構築事業、応急給水資材車庫整備事業を実施し、下水道事業では、下水道ビジョンの策定及び経営戦略の見直し、官民連携バイオガス発電、ストックマネジメント計画及び耐震化調査結果に基づいた老朽化・耐震化事業、合流地区分流化事業の促進により、安定した水供給と持続的な下水処理に努めていきます。

1. 水道事業会計の概要

将来に渡って安定した水道事業を継続するため、必要な投資を計画的に推進すること、及び投資に必要な資金も含めた適正な利益を確保することが求められます。このため、令和2年3月に改定した「水道事業ビジョン・経営戦略」に基づき、「安全・安心な水道水の確保」、「災害に強い水道の構築」、「次世代につなぐ水道事業運営」を基本目標とした施策事業を進めていきます。

経営基盤の安定

1. 水道事業ビジョン・経営戦略の進捗管理

- 水道事業ビジョン・経営戦略に沿って計画的に推進し、毎年決算確定後に目標達成状況を評価するとともに、直近の決算状況を反映した財政収支見通しと当初（策定時点）の財政収支見通しを比較して評価します。

施設整備の推進

1. 管路整備

恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略に基づき、地震に弱いとされる塩化ビニル管（TS継手）について耐震性を有する管への更新を優先的に行います。

- 布設替工事（老朽管耐震化工事、道路改良・下水道整備に伴う工事など）
 ≪予算≫ L=7,926m、387,847千円（耐震化工事分 371,474千円、道路改良等 16,373千円）
 うちTS管：7,618m（R3末残延長 34,743m）
- 布設工事
 ≪予算≫ L= 865m、 37,966千円
- 配水管実施設計委託業務
 ≪予算≫ 11,990千円



合 計 437,803千円

2. 上下水道管路台帳システム構築事業

- 適切な資産管理の推進、業務の効率性・正確性向上、利用者の利便性向上を図るため、水道法改正に伴う台帳整備、タッチパネル式窓口課金システム、災害・漏水事故のタブレットによる現場対応、IOT技術を活用した漏水探査システム等の構築を行います。

≪予算≫ 総事業費61,100千円（上水道負担分50,100千円、下水道負担分11,000千円）

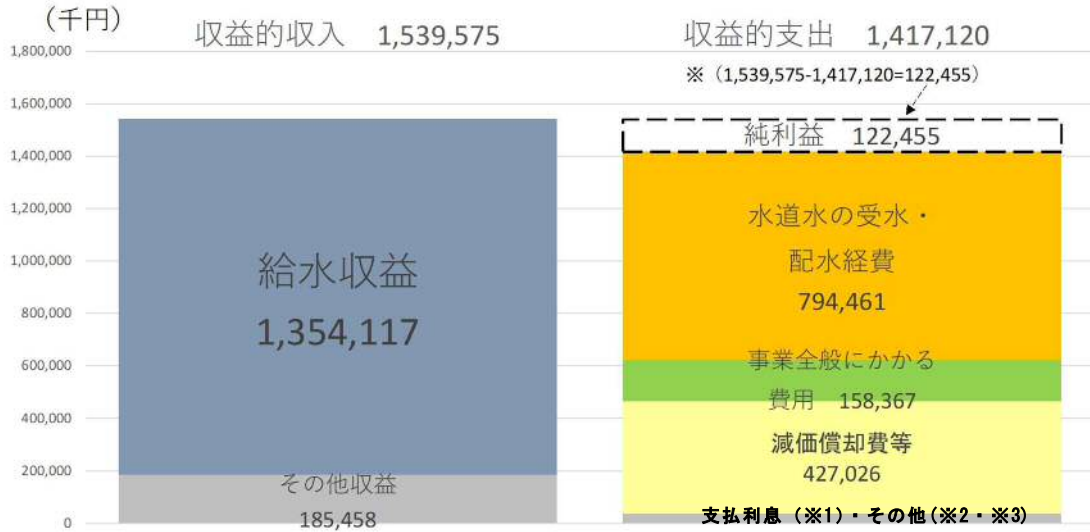
3. 応急給水資材車庫整備事業

- 緊急資材倉庫の整備を実施し、災害対策の強化を図ります。

≪予算≫ 15,827千円

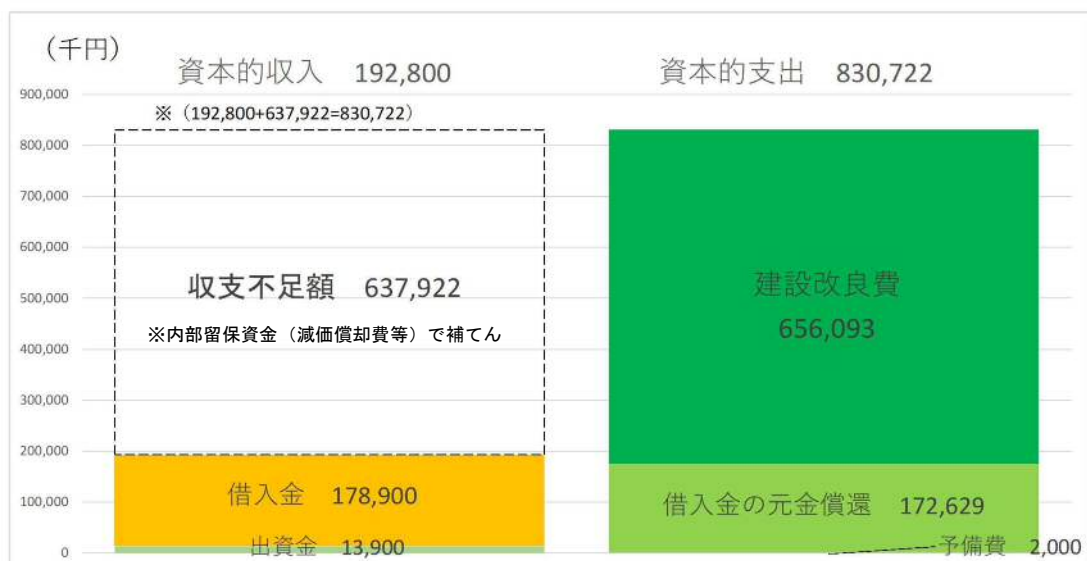
水道事業会計の概要

■収益的収支（3条）消費税抜き



- ※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息
 ※2 営業外費用：水道事業の主たる営業活動以外のから生じる費用
 ※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適当な費用（臨時的な費用や過年度分の水道料金還付金など）

■資本的収支（4条）消費税込み



出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの

2. 下水道事業会計の概要

将来に渡って安定した下水道事業を継続するため、計画的な維持管理や人材育成を行い、施設の老朽化および地震対策を進めると共に、近年の豪雨などに対応する下水道整備により、市民が安心して暮らせる街づくりを進めます。

このことを踏まえ、令和3年度予算につきましても『恵庭市下水道事業経営戦略』の経営方針に基づき、経営基盤の安定を目的とした事業と施設整備事業を進めていきます。



経営基盤の安定

1. 下水道ビジョンの策定及び経営戦略の見直し

- 社会環境の変化等により、収支実績及び収支見込みが現行の経営戦略と乖離していることを踏まえ、経営基盤の安定及び持続可能な経営を実現するために経営戦略を見直し、経営戦略を策定する上での理念となる下水道事業ビジョンを策定します。

《予算》 5,984千円

2. 官民連携バイオガス発電

- ごみ焼却排熱を活かした官民連携バイオガス発電事業(R2～R21)を継続し、効率運転等によるバイオガス量の確保に努め、得られるガス売却益を下水道事業の運営費に充当します。

《予算(収入)》 80,586千円(うち下水道事業分44,322千円)

施設整備の推進

1. 管路整備

雨水管整備による浸水対策や污水管整備及び個別排水処理施設整備による生活排水処理の普及を図り、快適で持続可能な生活環境を創出します。

また、基線通戸磯跨線橋の架替に関連する下水道管整備を継続します。

- 雨水管・污水管整備事業 《予算》 294,230千円
- 個別排水処理施設整備事業 《予算》 23,859千円

2. 老朽化対策および耐震化

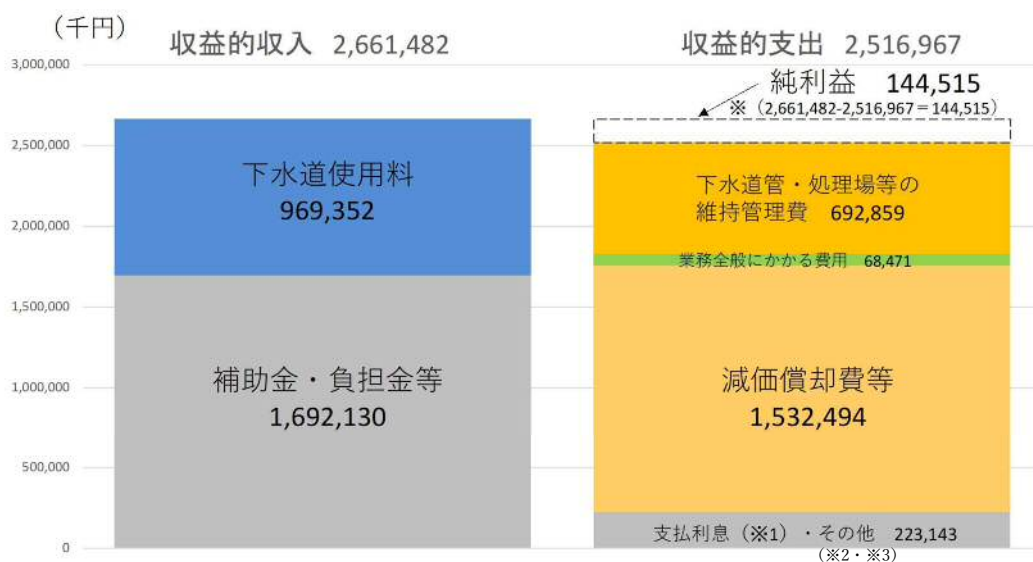
- 重要な幹線や供用年数が高い管渠等、被災リスクの高い管渠から計画的にテレビカメラ等によって健全度調査を継続します。《予算》 29,600千円
- 終末処理場内の各施設に応じた重要度を踏まえ計画的に耐震診断を継続します。《予算》 8,000千円
- 健全度調査結果等に基づく管路施設の老朽化対策を継続します。《予算》 35,863千円
- 健全度調査結果等に基づく処理場設備の更新を継続します。《予算》 118,932千円
- 耐震診断結果に基づく管路施設の耐震化を実施します。《予算》 26,200千円
- 耐震診断結果に基づく処理場施設の耐震化を継続します。《予算》 92,000千円

3. 合流式下水道の分流化

- 合流式下水道地区に污水管を新設することによる分流化を継続し、公共用水域である河川の水質を保全するとともに合流式下水道特有の臭気の改善を図ります。《予算》 419,610千円

下水道事業会計の概要

■収益的収支（3条）消費税抜き



- ※1 支払利息：借入金（企業債）に対する利息
 ※2 営業外費用：下水道事業の主たる営業活動以外のから生じる費用
 ※3 特別損失：当期の費用に計上することが不適当な費用（臨時的な費用や過年度分の下水道使用料還付金など）

■資本的収支（4条）消費税込み



- ※出資金：一般会計又は他会計から特別に出資されたもの